

平成28年度 第3回 総会

◇日 時：平成28年10月14日（金） ◇場 所：上伊那教育会館講堂

《 次 第 》

- 1 開 会
- 2 上伊那教育会の歌『仰望』
- 3 会 長 挨拶
- 4 報 告
 - (1) 信濃教育会常任委員会報告（小林会長）
 - (2) 信濃教育会定時総会(6/21)・臨時総会(9/15)報告（飯澤常任委員）
 - (3) 信濃教育会第130回定期総集會松本大会報告(7/2)（飯澤常任委員）
 - (4) 県外教育関係機関視察報告(6/30・7/1)（飯澤常任委員）
 - (5) 第67回日本連合教育会栃木大会参加報告（小林会長 長谷川香織会員・小野まど佳会員）
- 5 協 議
 - (1) 公益法人未来継承委員会答申（小池未来継承委員会委員長）
 - (2) 教育会各事業の中間報告
 - ①職能研修事業（飯澤常任委員）
 - ②児童生徒育成事業（福與常任委員）
 - ③郷土研究事業（川村常任委員）
 - ④不動産貸与事業、会員共済事業、視察派遣・広報事業（矢澤静事務局長）
 - ⑤あり方委員会（伊藤常任委員）
 - (3) 総研修会「仰望の日」反省
- 6 諸 連 絡
 - (1) 「少年の塔周辺整備作業」「少年の塔慰霊祭」について
 - (2) 文学講演会について
 - (3) 平成28年度教育会諸事業の反省と集約について
 - (4) 教育会諸事業にかかる印刷物について



協 議 か ら

未来継承委員会答申

公益法人としての財務・会計を適正化し、永続可能なものにするために、研修助成事業への助成額の見直しを行うこと。また、ホームページ・グループウェア運用規程を作成し、適正な活用を図ることを小林教育会長より諮問をうけ、未来継承委員会（小池委員長）から次のように答申がありました。

- 公益法人としての財務・会計を適正化し、永続可能なものにするため



に以下のように変更する。

- (1) 研修助成事業のうち、各地区教職員会への助成と各教科等教育研究会への助成を以下のように変更する。
- ・各地区教職員会への助成については、「上伊那教育会会員数による助成」及び「各地区教職員会への一律定額助成」から、「上伊那教育会会員数による助成」への一元化を図る。
 - ・各教科等教育研究会への助成については、「上伊那教育会会員が個人負担する各研究会の当該年度会費の半額助成」及び「上伊那教育会会員一人への一律助成」から、「上伊那教育会会員一人あたりの助成」への一元化を図る。また、各研究会に行っている、一律 10,000 円の助成を廃止する。
- 「HP 等運用規程」を作成し、ホームページ・グループウェアの適正な活用を図る。
- (1) 本委員会内にホームページ・グループウェア検討部会を設け、グループウェア運用実態を調査し、会員が活用しやすいホームページ・グループウェアの運用について検討する。
- (2) グループウェア運用実態調査に基づき、「HP 等運用規程(案)」を作成する。
- ① HP 等検討部会は、実態調査に基づき、「HP 等運用規程(案)」を作成する。
 - ② HP 等運用規程(案)は、教育会館運営部「ホームページ委員会」において専門家を交えて更に検討し、一定の試行期間を経て正式な運用規程を策定する。施行後の規程等の見直しは、ホームページ委員会において行う。

※上記は一部抜粋です。詳しくお知りになりたい方は各校の代議員の先生が詳しい資料をお持ちですので、そちらをご覧ください。

各事業の活動中間報告より

教育会各事業の中間報告があり、講習講演会事業（哲学研修・文学研修・授業研修 等）からは次のような反省が報告されました。

◇哲学研修 読み合わせ会（4回実施）・夏期講習会（7/28（木）・29（金）開催）

- ・各読みあわせ会とも30名近くの会員の参加により、充実した読みあわせ会が行われた。
- ・今年度、唐澤先生を講師に迎え、「善の研究」第1編から学ぶことで、上伊那哲学研修の新たな一歩を踏み出すことができた。これからも西田哲学を学び、西田哲学を通して自らの教育実践を見つめ直す機会をもつことで、教師としての力量を高める努力を続けたい。

◇文学研修会 読み合わせ会（5回実施）

- ・毎回30名近い会員の参加により、充実した読み合わせとなっている。野溝先生からは、芥川賞作品を読み合わせることを通して、それぞれの作品の特徴、その作品が生まれた背景、作品に対する評価等について、様々な角度からご指導やご助言をいただいている。自己を振り返る場ともなっており、充実した時間となっている。

◇授業研修 授業研修会（6回予定 3回終了）

- ・本年度も授業研究会を1回とし、そこに臨むまでの研修を「事例学級の授業参観」と「ビデオを中心とした資料研究会」の2方向から研修した。講師は松木健一先生にお願いし、引き続きご指導いただく予定である。

※会員の皆様には、それぞれの事業、活動等にご支援、ご協力をいただいております。また、各委員の皆様には各事業の運営、推進に当たり、お骨折りをいただいております。ありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。

